
環 境 活 動 レ ポ ー ト

2 0 1 4 年 版

作成： 環境管理責任者 長崎 紀夫

確認： 環境委員会事務局 丸山 武彦

この活動レポートは2013年10月から2014年
9月までを対象とする。

発行日 2014年10月11日

(有)キョーシン精工

〒399-4301 本社 長野県上伊那郡宮田村1997

[電話]0265(85)5115

[FAX]0265(85)5118

第2工場 長野県上伊那郡宮田村大田切

[電話]0265(85)3582

[FAX]0265(85)3646

目 次

I	事業活動の概要	P-1
	(1) 環境負荷の状況	
	(2) 環境活動への取組状況	
II	環境方針	P-3
III	環境目標と実績	P-4
	(1) 環境目標の設定	
	(2) 実績	
IV	主要な環境活動計画の内容	P-5
	(1) 環境方針、環境活動計画の発表	
	(2) 部門別活動計画の策定	
	(3) 環境活動の内容	
V	環境活動の取組み結果の評価	P-10
	(1) 電力使用量	
	(2) 埋立処分量	
	(3) 水使用量	
	(4) マネジメントレビュー	
	(5) 代表者による全体の評価と見直し	
	(6) 今後の活動の取組み	
VI	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P-13
	(1) 適用される主な環境関連法規と遵守評価	
	(2) 違反、苦情、訴訟等について	

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	I 事業活動の概要	2014年度版	頁 2/15

I 事業活動の概要

事業所名

有限会社キョーシン精工

代表取締役社長

長崎 紀夫

所在地

本社 ; 長野県上伊那郡宮田村1997

第2工場 ; 長野県上伊那郡宮田村大田切

環境管理責任者

長崎 紀夫

環境問題関連担当者

丸山 武彦

連絡先

TEL 0265-85-5115

FAX 0265-85-5118

事業内容（認証、登録の範囲）

本社工場 モールド金型の製造、販売並びに自動車用マップランプの製造

第2工場 プレス製品及び樹脂成形品の製造、販売

事業の規模

(i) 資本金 1000万円

社員数 21名

派遣社員 1名

設立 1983年3月1日

敷地面積

本社工場 2192 m²

第2工場 1404 m²

(ii)

	単位	2012年度	2013年度	2014年度
売上総計	百万円	335	322	327
取扱量	t	117	92	97
材料投入量	t	121	95	103

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	I 事業活動の概要	2014年度版	頁 3/15

(1) 環境負荷の状況

当社の温室効果ガス排出量、廃棄物等総排出量、水資源投入量の実績は以下のとおりです。

2014年10月 集計

		2012年度 (30期)	2013年度 (31期)	2014年度 (32期)
温室効果ガス排出量	総量(Kg/年)	296,698	287,871	261,449
廃棄物等総排出量	総量(Kg/年)	4,980	4,955	4,344
水資源投入量	総量(m ³ /年)	17,040	17,066	16,970

(2) 2014年度の環境への取組のチェック

当社の2014年度環境活動への取組み状況は以下のとおりでした。

2014年10月 集計

分類項目	取組み施策	評価点	満点	実施率
事業活動への インプットに 関する項目	省エネルギー、	92	104	88%
	省資源、	34	34	100%
	水の効率的利用及び日常的節水	32	36	89%
	小計	158	174	91%
事業活動への アウトプットに 関する項目	温室効果ガスの排出抑制、大気汚染の防止	6	12	50%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	42	48	88%
	排水処理	22	22	100%
	その他生活環境に係る保全の取組等	6	6	100%
	小計	76	88	86%
製品及びサービス に関する項目	グリーン購入	20	22	91%
	製品及びサービスにおける環境配慮	43	48	90%
	小計	63	70	90%
その他	環境コミュニケーション及び社会貢献	28	28	100%
	小計	28	28	100%
	合計	325	360	90%

環境への取り組みの自己チェックの推移 (別表)

取り組みの実施率の推移は以下の通りです

2012年10月	集計	96%
2013年10月	集計	90%
2014年10月	集計	90%

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	Ⅱ 環境方針	2014年度版	頁 4/15

Ⅱ 環境方針

環境理念

(有)キョーシン精工は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つである事を認識し、環境保全と継続的な改善に努め、人に優しい工場環境の実現を目指して行動します

環境方針

当社は、自社の事業活動が精密金型の製造販売、並びにそれらを用いたプレス製品及びモールド成形品、モールド組立品の製造であることを踏まえて、EMSの定められた適用範囲の中で以下の環境活動を行う

1. 電力・燃料の消費による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 資源・エネルギーの節減に努めます。
3. 不良による資源の消費量、廃棄物量を削減する
4. 分別・リサイクルによる廃棄物の減量化に努めます。
5. 節水による水資源の利用削減に努めます。
6. 環境側面に関する法令及び当社が同意したその他の要求事項を遵守します。
7. EMSの継続的な改善と事業活動による環境汚染の予防に努めます。
8. 環境に配慮した製品またはサービスを提供します。

平成24年10月1日

(有)キョーシン精工

代表取締役社長 長崎 紀夫

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	Ⅳ 主要な環境活動計画の内容	2014年度版	頁 7/15

(2) 上記、環境目標に対する具体的な部門別環境活動計画書を、新たに部門毎(第1製造(金型)、総務経理、第2製造1課、2課)策定し、計画にもとづいて活動に入りました。(2012年9月30日)
環境活動計画書は別表にて添付します。

(3) 活動内容

①電力使用量の削減(2013年度比2%削減)

- i) エアコンの温度管理の徹底(暖房 22度 冷房 28度)。
節電シールを貼付し徹底化をはかりました
- ii) エアコン使用時、ドアの開放厳禁。(全部門)
- iii) 休憩時、終業時の消灯の徹底。(全部門)
節電シールを貼付し意識付けを行いました
- iv) パソコン等、不使用時、休日は電源をきる。(全部門)
- v) 成形トライ時、タイマー使用等、無駄な電力を使用しない計画的実行。(金型部門)
トライを予約制にして予約表に記入することにより計画的な実施をはかりました。



節電シール



節電シール

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	Ⅳ 主要な環境活動計画の内容	2014年度版	頁 8/15

②埋立処分量の削減（2013 年度比 5%削減）

- i) ISO9001-2000 の計画に依る重点工程不良低減（50%）。（全部門）
- ii) 樹脂材質の分別によるリサイクル化の徹底。（全部門）
分別と 1 部ランナーの粉碎により引き取り価格UP を実施しました。
（金額メリット 26 期比約 10%UP） 第 2 製造部 2 課
- iii) トライ回数の削減（TO 良品化）（金型部門）
- iv) 鋼材、非鉄類のリサイクル（金型部門）
（重量 28 期比 10%UP）
- v) 古紙、雑誌、ダンボールのリサイクル化。（全部門）



古紙雑誌リサイクル籠



樹脂分別用ケース

③省資源化（2013 年度比 5%削減）（成形材料の歩留り改善、消耗品使用量の削減）

- i) 成形不良率を調査し削減する。段取りの効率化をはかる。
- ii) 提出書類、記録類、図面以外は使用済紙の裏面使用。
- iii) 不要なコピーを行わない。プリンター利用（全部門）
- iv) 切削工具のリサイクル化（金型部門）
- v) 節水対策として
手洗い場の流水量の調節
トイレタンクの流水量の調節（全部門）
成形機冷却水の循環使用

④油、廃油類の社内管理の徹底と緊急時の対応

- i) 不要な油類と使用する油類の整理、責任者の明示確認
- ii) 保管場所に非常事態用のウエス、オイルシートの設置確認
- iii) コンプレッサードレン水処理装置の設置と効果確認
- iv) 27 期 6 月から③項の内容ですが、ワイヤのリサイクルを開始
- v) 緊急時の対応手順を確認し、対応訓練を実施しました。

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	Ⅳ 主要な環境活動計画の内容	2014年度版	頁 9/15

i) 廃油、油類の管理



廃油保管場所



油類保管場所

ii) 切削油の処理とオイルシート等の管理



切削屑油抜タンク



オイルシート、吸着材

iii) ドレン水の分離装置

コンプレッサードレン水の
処理装置を設置して7年経過
規準数値内での処理が継続
できています。



iv) ワイヤ線のリサイクル化

ワイヤ加工機にリサイクルボックス
を設置、64Kgの使用済線
をリサイクルにより20Kgの
新線と交換できることに
なりました



環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	Ⅳ 主要な環境活動計画の内容	2014年度版	頁 10/15

v) 緊急時対応訓練の実施

実施日 2014年 9月 4日

参加人数 21名

火災発生を想定して避難訓練、消火器使用訓練を実施



油漏洩対応手順書に基づいて、緊急時訓練を実施。

(消火器使用訓練)

(油漏洩対応訓練)

訓練結果の考察

緊急事態対応手順書に基づいて、火災時を想定した訓練を行った。

火災訓練として、水消火器を使用した消火訓練を行ない使用方法について学習した。

避難経路の確認、環境影響に対する処置、とともに近年の課題である地震災害に対する対応説明など、想定できる災害に対して危機感を共有できる訓練であった。

又、油漏洩時の対応訓練として、油の保管場所にて発生させないための注意事項、発生時の対応方法等の訓練を行った。

環境活動レポート					(有)キョーシン精工		
標題	V	環境活動の取組み結果の評価			2014年度版	頁	11/15

V 環境活動の取組み結果の評価

環境管理委員会は前記、取組み結果により以下の評価を行いました。

(1) 電力使用量の削減

活動期間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年平均
達成率	101%	91%	77%	101%	101%	104%	120%	105%	101%	141%	121%	130%	107%
評価	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

結果の考察

例年であれば10月から12月まで比較的に良好な状態で推移し1月から3月が寒冷期と売上の減少で効率が悪いのだが、今年度は年平均達成率でも107%と全体を通して良好であった。

(2) 埋立処分量の削減

活動期間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年平均
達成率	130%	85%	77%	176%	275%	265%	241%	201%	95%	333%	82%	123%	174%
評価	○	△	△	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○

結果の考察

13年度比5%削減の目標を設定しが、平均達成率174%と良好な推移であった。
更にスクリー洗浄、成形条件の見直し、周辺環境等の見直しにより不良率の低減を進めて行く。
又、リサイクル部分を増やすための対策も実施しており、資源の有効利用の点からも更なる改善活動を進めて行く。

(3) 水道使用量の削減

活動期間	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年平均
達成率	171%	61%	55%	66%	71%	142%	178%	114%	100%	151%	100%	149%	122%
評価	○	△	△	△	△	○	○	○	△	○	△	○	○

結果の考察

13年度11月から14年2月までの4ヶ月間は、未達となったが14年1月に水洗トイレの水漏れを修理した事も要因のひとつと思われるが、水の使用量が大幅に低減し年平均では122%と目標達成となった。

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	V 環境活動の取り組み結果の評価	2014年度版	頁 12/15

(4) マネージメントレビュー

環境委員会において環境活動の結果の評価から
以下のマネージメントレビューを行いました

(4-1) 環境経営システムの有効性及び法的遵守
システムの有効性は有りと判断する、 法的遵守状況は違反なし

(4-2) 環境への取り組みの実施評価
今期も引き続き環境改善の取り組みを継続していきたい。

評価内容	13年10月～12月	14年1月～3月	4月～6月	7月～9月
電気使用量の削減	是正(平均 90%)	良好(平均 102%)	良好(平均 109%)	良好(平均 131%)
廃棄物の削減	是正(平均 97%)	良好(平均 239%)	良好(平均 179%)	良好(平均 179%)
水使用量の削減	是正(平均 96%)	是正(平均 93%)	良好(平均 131%)	良好(平均 133%)

(4-3) 環境方針、環境活動計画は変更の必要はなしと判断する、
電気使用量、廃棄物共に14年1月以降良好で推移している。
水使用量については、1月に実施したトイレ修理後は良好に推移している。

(5) 代表者による全体の評価、見直し
32期に入って売上高平均は昨年比 102.4%、で若干上向いている。
しかし、売上総利益で40%減、経常損失286%増、純損失162%である。
金型部門の売上昨年比 74.2%、第2製造部は昨年比 114.8%であり
特に金型部門の受注の不安定が課題になっています。
今後の経営改善に向けて徹底した要因分析、綿密な改善計画の立案、計画
の実施に向けて踏み出さなければなりません。
利益確保、資源の有効利用のためにも、昨季以上に
『営業活動の活性化』、『工程不良の削減』、『生産性の向上』を
全体テーマとして活動し、ひいては環境負荷の低減を図りたいと思います

(5-1) 環境効率 (前年比)

i) 総エネルギー投入量	100.8%
ii) 総物質投入量	110.3%
iii) 水資源投入量	99.4%
iv) 温室効果ガス排出量	90.8%
v) 総製品生産量	104.2%
vi) 廃棄物等総排出量	87.7%
vii) 総排水量	79.3%
viii) OUTPUT/INPUT (割合)	83.0%

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	V 環境活動の取組み結果の評価	2014年度版	頁 13/15

(6) 今後の活動の取り組み

i) 二酸化炭素排出量の削減対策

経営環境の回復傾向が見えない中ではあるが
太陽光発電など、自然エネルギー利用も順次計画したい
また、断熱塗料という新しい技術を積極的に取り入れたい、
灯油、燃料の使用量削減の具体的目標値設定と計画を行う
廃棄物の削減に向け、不良低減と、
より一層の分別化とリサイクル化を推進します。

ii) 省資源化

成形材料の削減のための具体的対策を立て
工程不良、品質不良に依る資源のムダの削減に努めます。
資材その他の使用量削減とリサイクル化の目標計画を立案し
実施します。
水資源使用量の削減について、再度目標計画を立案し
活動します。

iii) 周辺地域への活動の拡大

村内のエコアクション21認証活動の活発化に伴い
同時に周辺地域へ環境活動の輪を広げることによって
社内活動の周知と、連帯を図っていきたいと考えます。

以上を更に活動目標として加えると共に、ISO9001 マネージメントシステム
と連動したシステムとして、環境保全と継続的な改善に
積極的に邁進します。

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	VI環境関連法規への違反、訴訟等の有無	2014年度版	頁 14/15

VI 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 適用される主な環境関連法規と遵守評価

2014年9月19日実施

区分	関連法規	影響項目	実施事項	遵守評価
水質	水質汚濁防止法 浄化槽管理法	浄化槽 コンプレッサー	・浄化槽設置届出 ・水質検査 ・ドレン水処理	○
騒音	騒音振動規制法	コンプレッサー	騒音の測定と記録	○
廃棄物	廃棄物処理法	金属屑 廃油 廃プラ	・保管場所の整備 ・委託契約の締結 ・産廃管理表の管理 ・マニフェスト交付 状況を6月30日 までに県へ報告	○
	フロン回収破壊法	業務用エアコン	回収文書、契約書の 保管	
化学物質	消防法	灯油	・灯油タンクの管理 ・少量危険物の管理	○
その他の 要求事項	顧客要求 (グリーン調達規定) EA21 審査登録	環境負荷物質	・メーカーエビデンス 取得 ・環境レポート公開	○

(2) 違反、苦情、訴訟等について

平成26年9月現在において関連法規への違反及び苦情、問い合わせ、訴訟は1件もありませんでした。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は、過去5年間ありません。

また、(1)により環境関連法規について自ら遵守評価する事によって遵守状況を確認しております。

環境活動レポート		(有)キョーシン精工	
標題	VI環境関連法規への違反、訴訟等の有無	2014年度版	頁 15/15

環境活動への取り組みの自己チェック評価の推移

2012年9月 集計

分類項目	取組み施策	評価点	満点	実施率
事業活動への インプットに 関する項目	省エネルギー、	92	104	88%
	省資源、	34	34	100%
	水の効率的利用及び日常的節水	38	36	95%
	小計	164	174	92%
事業活動への アウトプットに 関する項目	温室効果ガスの排出抑制、大気汚染の防止	6	12	50%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	48	48	100%
	排水処理	25	22	119%
	その他生活環境に係る保全の取組等	6	6	100%
	小計	85	88	97%
製品及びサービス に関する項目	グリーン購入	20	22	91%
	製品及びサービスにおける環境配慮	49	48	114%
	小計	69	70	96%
その他	環境コミュニケーション及び社会貢献	28	28	121%
	小計			
	合計	346	360	96%

2013年9月 集計

分類項目	取組み施策	評価点	満点	実施率
事業活動への インプットに 関する項目	省エネルギー、	92	104	88%
	省資源、	34	34	100%
	水の効率的利用及び日常的節水	32	36	89%
	小計	158	174	91%
事業活動への アウトプットに 関する項目	温室効果ガスの排出抑制、大気汚染の防止	6	12	50%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	48	48	100%
	排水処理	22	22	100%
	その他生活環境に係る保全の取組等	6	6	100%
	小計	82	88	93%
製品及びサービス に関する項目	グリーン購入	20	22	91%
	製品及びサービスにおける環境配慮	43	48	90%
	小計	63	70	90%
その他	環境コミュニケーション及び社会貢献	28	28	100%
	小計			
	合計	331	360	92%

2014年9月 集計

分類項目	取組み施策	評価点	満点	実施率
事業活動への インプットに 関する項目	省エネルギー、	92	104	88%
	省資源、	34	34	100%
	水の効率的利用及び日常的節水	32	36	89%
	小計	158	174	91%
事業活動への アウトプットに 関する項目	温室効果ガスの排出抑制、大気汚染の防止	6	12	50%
	廃棄物の排出抑制、リサイクル、適正処理	48	48	100%
	排水処理	22	22	100%
	その他生活環境に係る保全の取組等	6	6	100%
	小計	82	88	93%
製品及びサービス に関する項目	グリーン購入	20	22	91%
	製品及びサービスにおける環境配慮	43	48	90%
	小計	63	70	90%
その他	環境コミュニケーション及び社会貢献	28	28	100%
	小計			
	合計	331	360	92%